



令和3年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

加納中学校区 令和3年11月2日(火)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和3年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『子どもたちが、加納で輝けるためのまちづくり』

12年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・清武地域自治区の人口推移 平成27年 28,960人 ⇒ 令和47年 23,878人 (17.5%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています。

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・加納中学校区での活動事例・・・いきいき健康体操、加納地区文化祭、八重川清掃 等



▲加納中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- ・加納地域の魅力として、自治会活動が盛んである。青パト・立ち番などに積極的で地域のつながりを感じる。
- ・加納地域の課題として、最近、子供会の入会に難色を示されるところがあり、自治会と子供会がうまくつながるといいと感じている。
- ・地域発信力の重要性を感じており、子供たちに届くようにしたい。
- ・まずは、自分の仕事に誇りをもって取り組みたい。それが子供たちの将来の職業の選択肢になるのではないかと。発信力を高めていくことも大事である。発信に関しては、現状を伝えていくことも重要である。
- ・先日、八重川の清掃活動したが、多くのごみがあった。中学生にもボランティア活動に積極的に参加してもらい、考える場、考えさせる場として捉えさせたい。
- ・学校に一人一台のタブレット端末が入ったのだから、これを有効なツールとして地域発信力につなげていければと感じる。有効活用できないか模索したい。



● 中学生からの意見

- ・加納地域の魅力として、地域の方々が挨拶してくれ、温かみを感じている。
- ・地域全体で防犯意識が高く、安心して住める。
- ・加納地域の課題として、交通量が多く、通学路も歩道がない部分があるため、危険なところがある。
- ・ペットの糞の処理をしていない場面を見ることがあり、マナー面などが課題である。
- ・街灯が少ない。安心・安全に下校するためにも街灯を増やしてほしい。
- ・将来の職業を思い描くようになったのもいろいろなことに触れる機会があったからである。私が感じたように、小中学生に宮崎の現状、命の大切さなど専門的な話が多く聞けるといいと感じている。
- ・大人・子供と一緒に取り組み、目標達成ができる取り組みを必要と感じる。マイナスをゼロに戻すだけでなく、プラスにはたらく取り組みが大事である。



● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・自治会長の話す発信力が大切だと感じた。子供たちは地域の活動に参加したいのだなと感じた。大人たちは、集まりを増やすことも大切だと感じた。
- ・中学生は、地域をよく見ていると思った。課題を感じていることも分かった。改善したり解決していくのは、大人や行政も加わらないと難しいのではないかと感じた。
- ・通学路の安全確保が重要ではないか。子供達が郷土を誇れる(魅力あるもの) ようになると良いのではないかと感じる。

● 市長からの回答、感想

- ・地域コミュニティが活性化すること、魅力を感じさせる街づくりをすることが大事である。
- ・住みやすい街づくりにするために、行政としても安心・安全な環境整備に努めてまいりたい。
- ・船引神社をとってみても、神楽など魅力がたくさんある街である。発信力に活かさないかと思う。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

